

企画県土警察常任委員会資料

(平成23年8月22日)

- 1 第一次的高速道路ネットワークの早期連結を目指す10県知事会議の政策提言について
【道路企画課】……1ページ
- 2 大名地区及び汗入地区基幹農道の全線供用開始について 【道路建設課】……2ページ
- 3 湖山池会議の概要について 【河川課】……3ページ
- 4 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
【道路建設課・河川課】……5ページ

県土整備部

第一次的高速道路ネットワークの早期連結を目指す 10 県知事会議の政策提言について

平成 23 年 8 月 22 日
道 路 企 画 課

国の骨格を形成するために最も早く整備されるべき基幹的な「第一次的高速道路ネットワーク」は、地方の成長戦略を実現し、「元気な日本」を復活させるために必要不可欠な社会基盤であり、今後想定される大規模災害に備えるためにも高速道路を一刻も早く連結することが必要であることから、次のとおり国に対して第 4 回目の政策提言を行いました。

1 日程 平成 23 年 7 月 29 日（金）

- | | |
|-------------|--------------------------------|
| 9：00～9：40 | 「道路のネットワーク化推進議員懇談会」との意見交換会 |
| 9：40～9：55 | 国土交通省への提言活動 |
| | 応 対 者：三井 辨雄 ^{わかお} 副大臣 |
| 10：45～11：00 | 民主党への政策提言 |
| | 応 対 者：横光 克彦 組織委員長 |
| 11：00～11：20 | 共同記者会見 |

2 政策提言の概要

東日本大震災であらためて認識された高速道路ネットワークの緊急輸送道路の幹線としての重要性や、広域物流機能を確保するための多重的なネットワークの有効性を説明するとともに、もう一度日本を元気な国にするために、地方にとって無くてはならない社会基盤である「第一次的高速道路ネットワーク」のミッシングリンク解消を訴えた。

- ①「元気な日本」、地方の成長戦略を支える「第一次的高速道路ネットワーク」の早期連結を、国策として重点的に実施すること。
- ②東日本大震災を教訓に、「第一次的高速道路ネットワークの早期連結」を「社会資本整備重点計画」の中に位置付けること。

3 政策提言の結果

国及び民主党からは、ミッシングリンクの解消は、国を挙げて早急に実施されなければならない大きな課題であり、最大限努力すると回答を得たが、現在、国では高速道路のあり方が議論され、また、社会資本整備重点計画の見直しを行っており、提言の内容が反映されるかを慎重に見極め、時機を見て必要な活動を行う。

だ い め い

あ せ り

大名地区及び汗入地区基幹農道の全線供用開始について

平成23年8月22日

道 路 建 設 課

大名地区基幹農道（5.4 km）及び汗入地区基幹農道（6.3 km）のうち、大山町加茂地内の1.1 kmを下記のとおり供用開始します。

これにより、大名地区基幹農道及び汗入地区基幹農道は全線供用となり、地域を横断的に結ぶ物流ルートが完成し、大山町で生産される農産物の流通路が確保され、輸送経費の節減、農業所得の向上などが期待されます。

記

- 1 開始日時 9月7日（水）正午予定
- 2 事業概要

(1) 延 長	11.7 km	うち、大名地区基幹農道	5.4 km
		汗入地区基幹農道	6.3 km
(2) 幅 員	7.0 m（車道幅員2.75 m×2車線）		
(3) 事業期間	昭和61年度～平成22年度		

【位置図】



湖山池会議の概要について

平成23年8月22日
水・大気環境課
農政課
河川課

知事と鳥取市長との意見交換会（H22.5.14）等の合意により「湖山池の望ましい姿」を検討するために発足した「湖山池会議」を開催し、今後の将来ビジョン策定に向け、悪臭や汚濁の要因である、アオコやヒシの発生を抑制し、景観を含めた環境改善のために、現在の塩分濃度をより高塩分での管理（東郷池程度の塩分）を行う方向が望ましいことを確認し、この際に必要となる農業対策を検討することとした。

1 開催日時等（第5回）

- 日時：平成23年8月3日（水）10：00～
- 場所：鳥取市役所 本庁舎 第3会議室
- 出席者：（鳥取市）副市長 他関係部長、（鳥取県）統轄監 他関係部長

2 議事概要

（1）水質シミュレーションについて

- Dパターン（全開時）シミュレーション結果
塩分濃度年平均約7,000mg/Lとなり、貧酸素域は拡大の方向。COD（化学的酸素要求量）は現状と大きな変化はないものの若干改善傾向。また、生物相は淡水性中心から汽水性中心に変化。
- Cパターン（東郷池程度）シミュレーション結果
塩分濃度年平均約3,000mg/Lとなり、貧酸素域は拡大の方向。CODは現状と大きな変化はなく改善は見られない。また、生物相は淡水性中心から汽水性中心に変化の傾向。

（2）営農意向アンケート（瀬土地改良区）結果について

- 水稲作付について、現状維持する意向の農家は、5年後57%、10年後には46%と減少する傾向。
- 営農上の問題点として、儲からない、後継者がいない、農機具の更新ができない等の意見が多く、10年後には水田営農をやめる意向の農家は30%近く見込まれた。
- 瀬土地改良区役員会としては、このアンケート結果を受けて、地域ぐるみで作業受託等の体制を整えるなど、瀬地区の営農の維持を図りたい意向。

（3）今後の湖山池の方向性について

- 悪臭や汚濁の要因である、アオコやヒシの発生を抑制し、景観を含めた環境改善のために、水門の開放時間を長くして海水の流入を多くし、現在の塩分濃度をより高塩分での管理を行う方向を確認
- 自然環境の変化が比較的小幅に抑えられるCパターンでの塩分管理が目指す方向と確認。この際に必要となる農業対策を検討する。
- 住民や関係者の意見を聞きながら年内の将来ビジョン策定を目指す。

〔参考：過去の湖山池会議の開催概要〕

第1回（H22年6月25日）

- ・湖山池の将来ビジョンの策定に向け、市民協働推進ワーキング及び水質浄化・生態系ワーキングを設置して検討することを決定

第2回（H22年8月11日）

- ・住民に対するアンケート内容や意見交換会の実施方法の検討
- ・湖山池の将来像パターンの検討及び水質浄化方策の取りまとめ
- ・繁殖の著しいヒシ除去対策に県・市で精力的に取り組むことの決定 等

第3回（H22年10月29日）

- ・市民アンケート内容や実施方法を決定
- ・水質浄化施策の検討結果について確認
- ・ヒシの刈取り実績、効果について確認 等

第4回（H23年3月30日）

- ・市民アンケート結果によると東郷池程度の環境を望む意見が多かった
- ・営農意向調査を行うことを決定
- ・平成23年の水門管理については、平成22年度の実績を基本とすることを確認 等

湖山池の今後の方向性について

湖山池周辺状況

将来像の4パターン(案)	Aパターン 塩分：150～330(mg/L) H1 合意	Bパターン 塩分：約 300～1,000(mg/L) 現状	Cパターン 塩分：約 2,000～5,000(mg/L) 東郷池程度	Dパターン 塩分：約 5,000～9,000(mg/L) 中海の上流程度
市民アンケート (支持率)	△ (6.8%)	○ (20.3%)	◎ (43.1%)	△ (5.9%)
瀬地区営農意向アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水稲作付けについて現状維持意向の農家の割合は、5年後(57%)、10年後(46%) ・ 水田営農をやめる意向の農家割合は、10年後には30% ・ 湖山池の将来像として、市民アンケートと同様にCパターンが最も多い支持(47%) 			
水質シミュレーション	－：未実施	－：未実施	△：CODは現状と大きな変化はなく 改善は見られない (COD 5.1→5.1:平均値) 注) Dパターンシミュレーションモデルを使用	○：CODは現状と大きな変化はないもの の若干改善傾向 (COD 5.1→4.8:平均値)
市民注目点 (生育環境)	アオコ：◎ ヒシ：◎ 赤潮：× フナ・コイ：◎ シジミ：× 特定希少野生動植物 (カラスガイ)：○	アオコ：◎ ヒシ：◎ 赤潮：× フナ・コイ：◎ シジミ：× 特定希少野生動植物 (カラスガイ)：○	アオコ：× ヒシ：× 赤潮：△ フナ・コイ：○ シジミ：○ 特定希少野生動植物 (カラスガイ)：×	アオコ：× ヒシ：× 赤潮：○ フナ・コイ：× シジミ：○ 特定希少野生動植物 (カラスガイ)：×
水門操作 (経済性)	必要 (×)	必要 (×)	必要 (×)	不要(全開) (◎)

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

県土整備部

【新規分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	摘要
道路建設課 〔東部総合事務所 県土整備局〕	国道178号(岩美道路(仮称))改良工事(1工区)(補助)	岩美郡 岩美町 本庄	国道178号(岩美道路(仮称))改良工事(1工区)(補助) 藤原・西村特定建設工事共同企業体 代表者 (株)藤原組 取締役社長 藤原正	243,600,000円 (予定価格) 293,917,050円	平成23年7月22日 ～ 平成24年3月15日	平成23年7月22日	制限付 一般競争入札 (6社)
道路建設課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	国道313号(倉吉道路)橋梁上部工事(18工区)(国府高架橋)(補助改良)	倉吉市 国府	富士ピー・エス・高野組特定建設工事共同企業体 代表者 (株)富士ピー・エス鳥取営業所 所長 久林正和	93,240,000円 (予定価格) 102,079,950円	平成23年7月25日 ～ 平成24年3月16日	平成23年7月25日	制限付 一般競争入札 (5社)

【変更分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	摘要
河川課 〔東部総合事務所 県土整備局〕	湯山海岸人工リーフ整備工事(2工区)(緊急経済対策)	鳥取市 福部町 湯山 ～ 海士	八幡コーポレーション(株) 代表取締役 玉木裕一	(当初契約額) 109,935,000円	平成23年3月4日 ～ 平成23年10月31日	(当初契約年月日) 平成23年3月3日	
				(第1回変更後契約額) 110,545,050円 (変更額) 610,050円		(第1回変更契約年月日) 平成23年7月25日	